

# 日刊 動労千葉

85. 10. 15

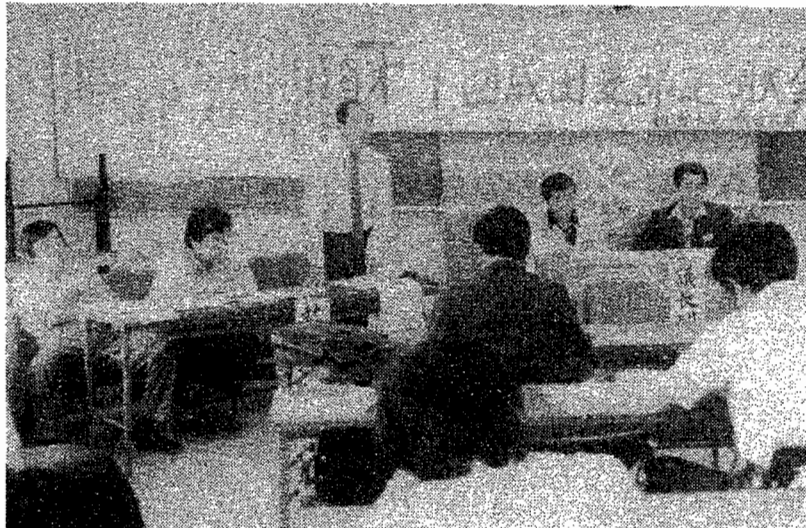
No. 2064

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二二二七二〇七

## 成田支部定期大会

＝徹底した討論で 11月ストへむけ 支部通信員・役員ら  
闘う体制と団結をうち固める＝



第九回成田支部定期大会は、十月十一日、十三時より成田運転区講習室において開催され、とどまるところを知らない「分割・民営化」攻撃に対し、総反撃に打って出る方針と新たな執行体制を確立し、圧倒的成功をかちとつた。

### 十一月ストで反撃を

#### ― 布施書記長あいさつ ―

議長団に、鈴木・大里両氏を選出し、日暮支部長より「10・20三里塚集会から始まる諸闘争に総決起し、その力で『分割・民営化』を粉碎しよう」との力強いあいさつを受けたのち、来賓の社会党成田総支部長・小川勝氏より「党も今後あらゆる力をもって全面的に支援する」とのあいさつを受けた。

本部を代表して布施書記長は、「七・二六答申後、当局は運転保安無視、団交拒否、ワッペン・名札処分、『60・3』への処分、雇用安定協約を恫喝材料とした屈服攻撃など、次々と攻撃をかけてきている。

中曽根は、大軍拡と国鉄労働運動解体をもって戦争国家体制をつくりあげようとしている。今、十万人の首切りが行われようとしているとき、もはや黙っているわけにはいかない。全組合員が一丸となって十一月ストライキで反撃しよう」とあいさつした。

### 六時間の討論で、闘う方針を決定

一般経過報告、会計報告、

方針案、予算案が一括提案され、質疑に入った。

主な質疑は、①納涼列車 ②管理者との飲酒 ③運輸長表彰制度 ④通対差しかえ問題 ⑤早朝仕業の解消 ⑥四ヶ月昇給 ⑦「分割・民営化」への方針などが出された。

総括的答弁として本部中野委員長より「厳しい状況下で必ず左右の分岐が出てくる。われわれは、動労『本部』革マルのように権力・当局の先兵になることは断じてできない。一步踏みこみ反撃に起つ。ストライキを軸とする実力闘争で首切りの元凶を叩きつぶそう」との答弁をうけ、六時間にわたる討論のまとめとし、満場一致で「方針」を確認した。

つづいて、新役員が選出され、長きにわたり指導された日暮、川嶋、大野、藤代各氏の退任のあいさつ、森内新支部長の決意表明を受け、団結ガンパロー三唱をもって終了した。

### 新執行体制

支部長	森内	猛	機士	四二
副支部長	大畑	勤	検査	四一
書記長	高柴	康	電運士	四四
執行委員	大須賀昭男	機士	機士	四一
"	高野	隆	電運士	四二
"	加納	明	"	三五



森内新支部長

二期工事阻止、不法収用法弾劾

東峰十字路裁判闘争勝利、動労千葉支援

## 10/20全国総決起集会

労農連帯の力で中曽根を倒せ!

勤務外全員決起を  
10時・成田運転区集合